

## 元気戦略見直しの方向性

第4次元気戦略策定の平成30年以降、感染症の影響等によるデジタル化の進行、カーボンニュートラルの実現に向けた動きや、新しい働き方の普及など、中小企業を取り巻く環境が大きく変化していることから、地域経済を支える中小企業が社会経済環境の変化に対応し、持続可能な成長を可能とする視点を取り入れ、第5次戦略を策定する。

## 第5次元気戦略骨子(案)イメージ

### 【現状と課題（中小企業・小規模企業を取り巻く環境）】

一部新規

- (1) 感染症の影響と社会経済環境の変化 (2) 人口減少・市場の縮小  
 (3) デジタル化の進展 (4) カーボンニュートラルやSDGsの社会的要請の高まり  
 (5) 災害等リスクの増大 (6) グローバル社会 (7) 新しい働き方  
 (8) 労働市場の変化 (9) 広域交通網の充実

### 【目指すべき姿】

地域経済を支える中小企業の持続可能性を高めるとともに、社会経済環境の変化に対応し、千葉らしい力強い成長を実現

### 【施策の方向】

- 1 成長の後押し
- 2 経営基盤の強化
- 3 雇用と人材育成
- 4 地域活性化

×

### 【施策横断の視点】

新規

- I デジタル技術の活用
- II SDGsの推進
- III グローバルな動きへの対応
- IV 多様な働き方の推進

対応

### 【施策展開】

## 本日の議題

一部新規・拡充

- 1 成長の後押し
  - ・意欲的な取組の促進（起業・創業、ベンチャー、成長産業（バイオ・食品など）、事業再構築、販路開拓、デジタル化）
  - ・産学官連携・企業間連携の促進（交流機会の創出、オープンイノベーション）
  - ・研究開発力の強化（研究開発の促進、知的財産の活用）
- 2 経営基盤の強化
  - ・多様な経営課題への対応（支援機関等による伴走支援、資金繰り、事業承継）
  - ・SDGsの取組の促進（カーボンニュートラル（再エネ・省エネ）、環境保全）
  - ・リスクマネジメントに係る支援（BCP）
- 3 雇用と人材育成
  - ・人材育成・確保（多様な人材の活躍、外国人材、キャリア教育）
  - ・働きやすい環境整備（テレワーク、ワーケーション、兼業・副業）
- 4 地域活性化
  - ・地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化（商店街、農商工連携）
  - ・地域の特色の活用（広域道路・成田空港、企業誘致、移住定住、観光振興）

### 【戦略を推進するにあたっての方策】

- ・支援体制の充実 ・官公需の推進 ・情報発信の強化 ・戦略の進行管理